

きもべつ辞典

【あ】

〈あげいもあげじゃが〉

ホコホコ揚げたてが、うぐんたまりません！やつぱり中山峠に行ったらこれを食べなくっちゃ。喜茂別特産の男爵いもに特製のパウダーをからめて揚げる「あげいも」。

「あげじゃが」

は、昭和43年の販売以来、圧倒



賞を受賞。キラキラ銀色に輝くアスパラガスの向こうには羊蹄山も望めることから、観光客の記念撮影の場としていつもピースサインと笑顔が飛び交っています。

〈インパチエンス・エゾヤマザクラ〉



平成9年3月25日にインパチエンスは町花として、エゾヤマザクラは町木に指定されました。インパチエンスはアフリカホウセンカの呼び名で、ピントク、白、紫紅などの美しい花をつけます。ラテン語のimpatiens(我慢できない)が語源になったそうです。北海道が長い

的な人気を誇っています。ほのかな甘さがあとをひき、思いついたようにまた食べたくなる時の味です。ちなみに、「あげいも」・「あげじゃが」は同じように見えても違う味なので、食べ比べをしてみてください。

〈アスパラガス〉



誕生です。もともとアスパラガスは寒さに強く、喜茂別の気候風土に適していたことから生産量も伸

昭和4年、羊蹄山麓の火山灰地帯でアスパラガスの本格的な栽培が始まりました。日本の「アスパラガス栽培発祥の地」の

冬の眠りから目覚めるころ、春を謳歌するようになりに開花が始まるエゾヤマザクラは、町民公園でも見ることが出来ます。



〈エディブルフラワー〉

羊蹄山麓の町村はおいしくて、きれいな水に恵まれています。その水が食用花「エディブルフラワー」を鮮やかで安全性の高いものに。生産者の情熱が実って、町を代表する作物に成長しました。現在ベゴニア、マリーゴールド、バラなど約30種類を札幌市内の百貨店やホテルに出荷。おいしい料理をゴージャスに演出するエディブルフラワーは、羊蹄山の清らかな水で育っています。

び、またクレードル興農が昭和7年からアスパラ缶詰の製造を開始したこともあって、アスパラガスは喜茂別町にはなくてはならない作物となりました。初夏を伝える味覚として全国へ発送されています。

〈アスパラガスの塔〉



中山峠にニョッキり生えた3本の金属製のアスパラガス。栽培発祥の地の誇りをもって、町のシンボルとしてこのモニュメントを作りました。平成8年度屋外広告物コンクール公共広告物部門では北海道知事

【か】

〈喜茂別川河川公園〉

溪流大会も行われ、釣りファンにとってはなじみの深い場所です。水と親しむ空間として整備されているので、夏になると涼を求めてやってくる人も多いようです。

〈喜茂別町民公園〉

国道276号と230号が交差する相川地区にあります。6.4haの広大な敷地内には温泉、フィールドアスレチック、野球場、パークゴルフ場、テニスコートなどの設備が整い、健康づくりに爽やかな汗を流す人の姿も。町木のエゾヤマザクラが美しいピンクの花をつける春は花見が楽しめます。スポーツにレクリエーションにと、いろいろ楽しめる方ができる町民のオアシスです。

